

令和2年度 第1回 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会

議事録

日時 令和2年7月22日(水) 10:00~10:35

会場 恵庭市民会館2階 大会議室

<出席者>

委員 原田市長、有田委員、山崎委員、鏡委員、杉若委員、池田委員、
久保委員、田中委員、茶園委員、亀石委員、後藤委員、渡邊委員
野邊委員、赤沼委員、堀尾委員、赤松委員、水野委員
事務局 広中部長、野村次長、須貝課長、濱田主査、櫻本(議事録作成)

1 開会宣言(須貝課長)

2 会長挨拶(原田市長)

おはようございます。お忙しい中、ご出席いただき、まことにありがとうございます。また、今年度委嘱いたしました委員の皆様には任期期間中よろしく願いいたします。

この安全で安心なまちづくり実行委員会につきましては、条例に基づいて組織しております。また、要綱において実行委員会の会長は市長が務めることと定めておりますので、ご挨拶いたします。

日ごろから委員の皆様には、各方面において恵庭市の安全安心はもとより市政にもご支援及びご協力をいただき、まず感謝を申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により大変な状況となっておりますが、医療や介護、福祉などに対して様々なご助力をいただいているおかげで、市内の感染者は最小限にとどまっております。これは市民や各団体の皆様方のおかげだと心から感謝をしております。

本日の議事にて取り上げることとなりますが、今年度は、恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画が終了いたしますので、来年度からの新しい推進計画を作成するという年度となっております。このことにつきまして、委員皆様のご協力を再度お願い申し上げます。

現在、子供たちは休校による長期休業が明けて元気に通っております。今年は例年と違い夏休みが短いため、8月に入ってから学校に通うこととなります。交通の面だけではなく不審者等につきましても、いつもとは違う体制が求められるかと思っておりますので、議論いただければ幸いです。

それでは、本日の会議につきまして、どうぞよろしく願いいたします。

3 委員および事務局員の自己紹介（各委員、事務局員）

4 議事

・配布資料の確認（須貝課長）

1) 副会長の選出

→鏡委員を任命

・副会長挨拶（鏡委員）

ただいま指名されました鏡です。

本日は皆様方のご意見をいただきながら、会長をサポートしてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

2) 令和2年度推進方策及び具体的な施策について（濱田主査）

→資料2及び3のとおり説明

・質疑応答

原田市長：

交通安全の分野となりますが、運転免許証自主返納の出張窓口を千歳警察署のご協力のもと、今年の4月と6月に市民会館で開設しました。その状況について報告をお願いします。

濱田主査：

本年度からの新規事業であり、事務局側も警察側も事務手続きについて手探りの部分があるため、4月は定員10名の予約制としました。予約状況は申込開始からすぐに定員へ達しました。当日も大きなトラブルもなく無事に終了しました。

このような状況を踏まえて警察と協議を行い、6月には定員を15名へ増やしました。ただ、6月も4月と同様に予約開始日に定員近くの予約がありました。

次回8月は、6月と同様に15名の定員を予定していますが、事務の効率化を進めて、1人でも多く受け付けられる体制を築きたいと考えています。

原田市長：

出張窓口では免許返納の他にもマイナンバーカードの申請、エコバスの利用促進としてエコバス回数券の交付も行っており、大変な好評をいただいております。

3) 恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画について（須貝課長）

→資料4及び5のとおり説明

・専門部会メンバーの選出

→選出方法は事務局提案で異議なし

→メンバーとして次の7名を任命

有田委員、杉若委員、池田委員、田中委員、茶園委員、
赤沼委員、水野委員

5 その他

原田市長：

安全安心に関わる最近の情報が何かありましたらこの場で共有させていただきたい。

有田委員：

私から報告させていただきます。昨日にあたる7月21日に盤尻でバイクの転倒事故がありました。また、去る4月19日にももう少し支笏湖寄りの道道でバイク転倒による死亡事故が発生しています。全道的に見ても二輪バイクの事故が多い状況です。

昨日の事故の詳細について、7月21日13:30ごろ、漁川ダムの少し過ぎたあたり(もう少しで市街地という所)でツーリングをしている4台のバイクのうち、先頭から2台目のバイクがガードレールに衝突しました。同日に札幌の病院へと運ばれ、意識は少し混濁していました。一夜明けて、本日時点の容態はまだ確認しておりません。

また、夏場になって不審者も目立ってきました。先日も防犯メールにて公然わいせつや下半身を露出するといった事案、子供に対する声かけ事案、漁川のウォーキングコースにて自転車に乗っていた不審者がウォーキング中の女性の胸を追い越しざまに触るといった事案が発生しています。幸いなことにいずれも大きな事件には発展しておりません。

他にも、振込詐欺は年々減少していますが、キャッシュカードをすり替えるといった新しい手口や「あなたの預金口座が使われているので止めなければなりません。」といった形で自宅を訪問し、通帳やキャッシュカードをすぐに受け取るといった手口が全国的に増加しています。高齢者への啓発として、絶対に暗証番号は教えない、通帳やカードは渡さないということを徹底していただければと思います。

原田市長：

当市も新型コロナウイルスの関連で臨時特別交付金として総額70億円程のお金が動きましたので、それに伴った特殊詐欺が発生するのではないかと大変心配しておりますが、現時点での被害報告はございません。

なお、交付金につきましては申請した方の約95%は給付が完了しております。

他に発言等がなければ、以上で第1回「安全で安心なまちづくり実行委員会」を閉会いたします。

～閉会～